

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		書道博物館管理運営				所管		文化産業観光部 文化振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	63	計画事業名	文化施設の活用		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり [施 策] ①文化に触れる機会の充実				[事業開始] 平成12年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区書道博物館条例・同施行規則						
	事業対象	区民及び広く一般								
	事業目的	画家であり、書家でもあった中村不折が台東区内に開設した書道博物館は、開館以来60年にわたり中村家が運営してきたが、平成7年に区が寄贈を受けた。不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。								
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持、管理 資料の保管及び展示 資料に関する調査及び研究 								
	委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容		(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。					
	補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度			
	活動指標	開館日数	(日)	277	272	277	283			
		成果指標	入館者数	(人)	15,000	13,442	15,400	15,600		
	決算額 (単位:千円)					27,377	34,458	43,082		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,700	1,925	1,427		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				27,378	32,536	34,659		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	1,922	8,424		
		総経費				29,078	36,383	44,510		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				4,797	5,652	4,951		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				22	2,138	2,804		
一般財源(区負担額)				24,259	28,593	36,755				
前回評価から改善した事項	上野地区共通入館券(UENO WELCOME PASSPORT)への新規参加や、入谷地区の地域活性化イベント「グッディ入谷」への参加により、他の博物館や地域からの来館者の呼び込みに努めた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	重要文化財をはじめとする中国及び日本の書道史研究上貴重なコレクションや、中村不折氏自身の作品を、都指定の史跡である建物とともに区が中村家から寄贈を受けた経緯があり、引き続き区立の文化施設として区民をはじめ広く一般に公開する必要がある。							
	効率性	3	貴重な資料の保存・保護のためには環境保全や計画的な修理が重要となるが、国庫補助金や都補助金を活用し、経費を最小限に留めながら、修復資料の保存と展示公開に努めている。							
	手段の適切性	3	指定管理者の専門性を活かした魅力ある展示を行い、固定客を確保している。本区の文化施設では最も年間パスポートによる入館者数が多く、リピーターも多い。							
目的達成度	4	上野「文化の杜」新構想実行委員会との連携のもと、新たに上野地区共通入館券(UENO WELCOME PASSPORT)に参加したほか、地域イベントに参加し、新たな層の来館者の呼び込みに努めた結果、来館者数が増加した。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
書道史上、重要なコレクションを有する専門博物館として、今後も他館や地域と連携し、貴重な資料の保存・保護に努める。なお、施設維持管理の面では、経年劣化が進む空調設備の更新工事を実施する必要がある。また、ランニングコストの削減及び環境負荷の低減を図るため、平成30年度に従来型蛍光灯から高効率で長寿命なLED照明への取り換えを行う。										